



2013年度(平成26年3月期)
第3四半期 決算説明会

エーザイ株式会社

2014年2月3日

hhe
human health care

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論、結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保健関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。

第3四半期業績のハイライト



- 次世代6品目、成長セグメントの拡大により増収を達成
- 日本、アジア、EMEA*は売上高、セグメント利益ともに堅調
- 米国で新発売する2品(BELVIQ、Fycompa)への先行的な販促の強化
- 研究開発に積極的な投資(プロジェクトの進捗とロルカセリンのインライセンス費用)

* 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

2013年度第3四半期 連結業績



(億円、%)

	2012年4-12月		2013年4-12月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上高	4,316	100.0	4,480	100.0	104
売上原価	1,281	29.7	1,416	31.6	110
売上総利益	3,034	70.3	3,065	68.4	101
研究開発費	872	20.2	1,062	23.7	122
販売管理費	1,620	37.5	1,575	35.1	97
営業利益	541	12.5	428	9.6	79
経常利益	502	11.6	392	8.8	78
四半期純利益	340	7.9	295	6.6	87
EPS (円)	119.34	-	103.43	-	87
Pharma EBIT*1	1,414	32.8	1,490	33.3	105
キャッシュ・インカム*2	729		663		91

*1 Pharma EBIT: 営業利益+研究開発費

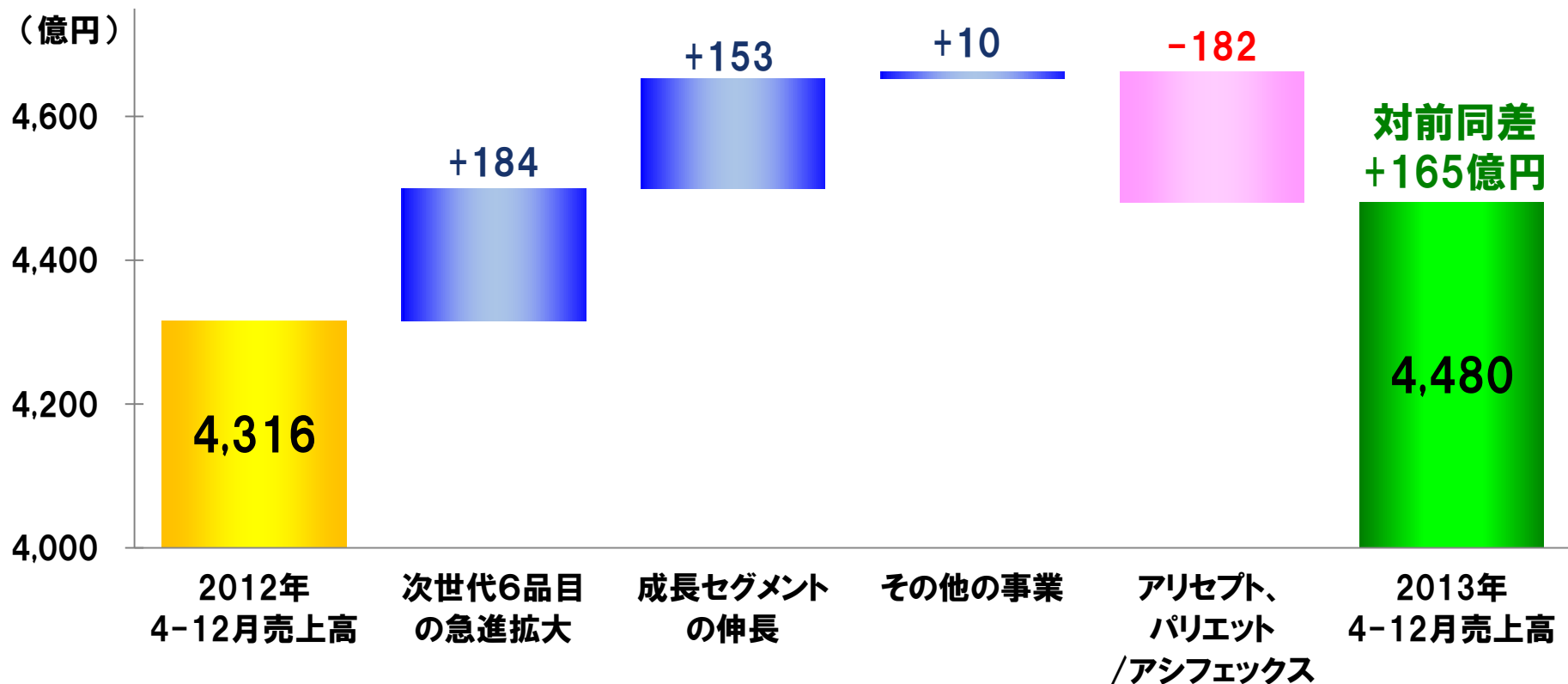
*2 キャッシュ・インカム: 成長投資・事業開発、株主還元、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額

算式: 純損益+有形・無形固定資産減価償却費+インプロセス研究開発費+のれん償却額+減損損失(投資有価証券評価損含む)

2013年度4-12月期中平均レート: 米ドル: 99.38円(前期変動率+24.2%)、ユーロ: 132.22円(同+29.4%)、ポンド: 155.88円(同+22.6%)

4-12月 売上高の増減要因分析

次世代6品目、成長セグメントの拡大が増収に貢献



- 次世代6品目**
- ◆ハラヴェン +51
 - ◆Fycompa +9
 - ◆BELVIQ +17
 - ◆ヒュミラ +60
 - ◆リリカ*1 +35
 - ◆ルネスタ +13

- 成長セグメント**
- ◆アジア事業*2 +116
 - ◆ジェネリック事業 +37

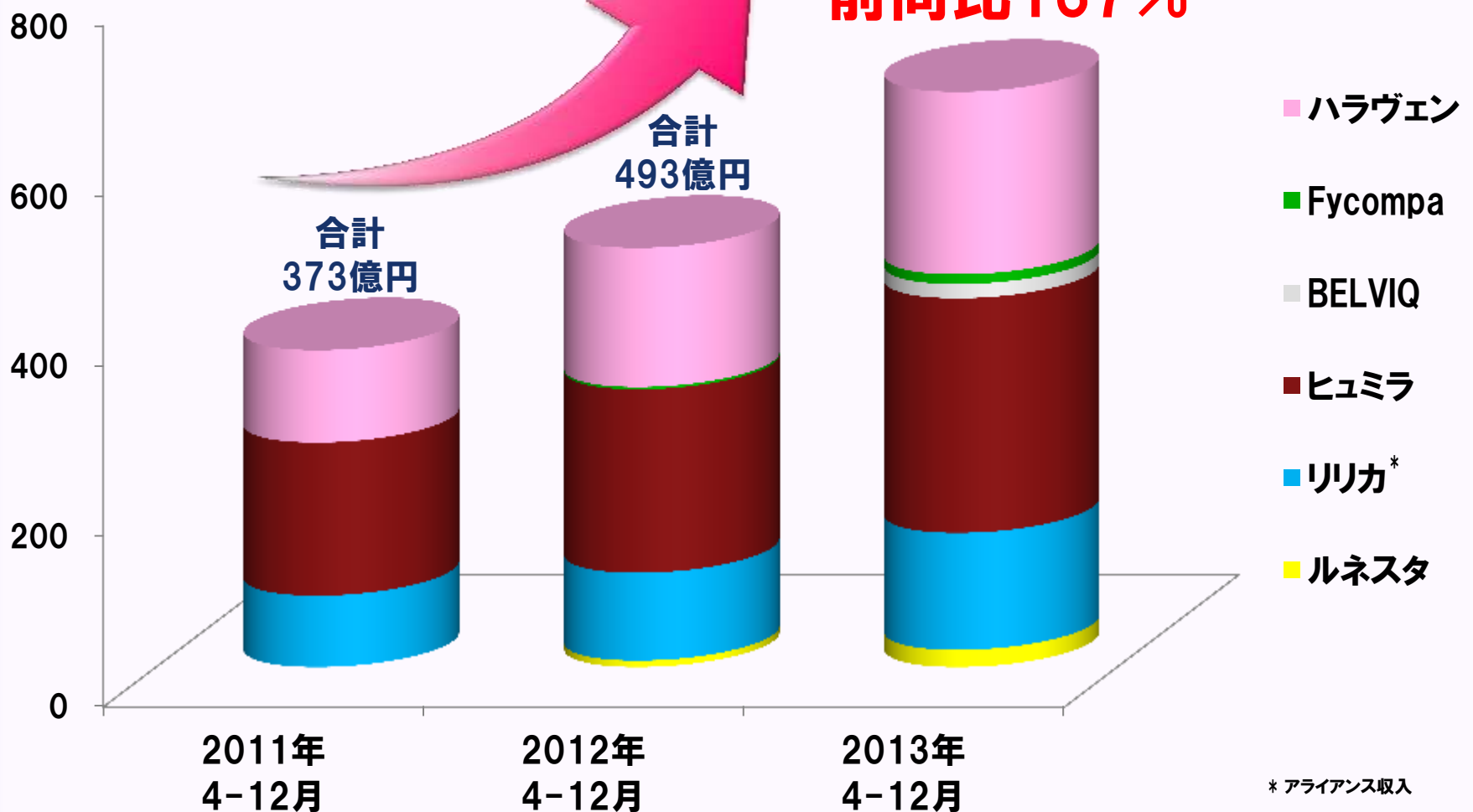
- ◆アリセプト*3 -102**
- ◆パリエット*3 -80**
- ／アシフェックス -80**

*1 アライアンス収入 *2 次世代6品目の実績は除く *3 アジア事業の実績は除く

次世代6品目の躍進

3Q累計売上高の推移

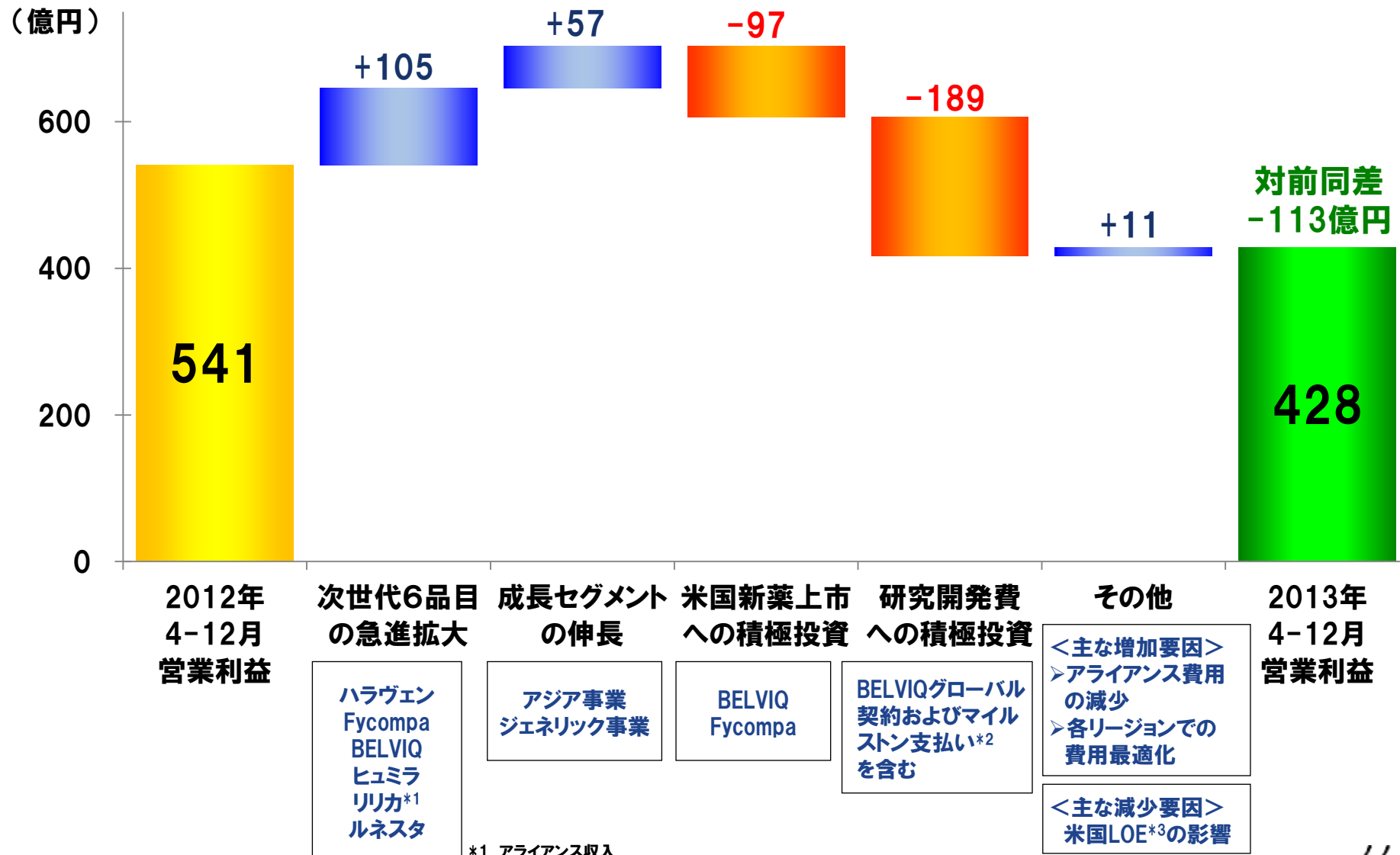
(億円)



* アライアンス収入

4-12月 営業利益の増減要因分析

米国新薬上市と研究開発費に積極投資



*1 アライアンス収入

*2 レンバチニブ メラノーマProof of Concept 達成、BAN2401 Ph.II開始、E7438 Ph.I/II開始

*3 アシフェックス、Dacogen、アリセプト23mg

Operational Excellence をめざして 加速するエーザイのグローバルトランスフォーメーション



新薬開発の短縮と確度の向上 先端医療への取り組み

- がん個別化医療の実現をめざし H3 Biomedicine Inc.を設立
- チーフクリニカルオフィサーの設置
- 臨床開発サポート機能、プロセス研究機能を再編*1

グローバルな デマンドチェーン体制の確立

- バイザッグ工場 (インド) Low Margin High Volume
DEC錠*2の生産開始(22億錠)
- ハットフィールド工場(英国) 少量、多言語包装
- 美里工場 事業譲渡契約(武州製薬)*1

さらなる成長をめざした マーケティング体制の強化

- 米国
 - BELVIQ販売体制の拡充 (MR200名→400名)
 - Payor重視の体制
- 欧州
 - がん、てんかん領域に特化した“ONE EUROPE”ビジネスモデル
- 日本
 - 医療圏にfocusしたhhcユニット体制 (地域包括医療、がん領域)

諸制度改革による グローバルプラットフォームの構築

- グローバル人財開発、ダイバーシティの推進
- 退職給付制度の改定(日本)
- 希望退職者の募集(日本)*1
- 固定資産、投資有価証券、子会社株式売却等による資本効率の改善
- 国際会計基準(IFRS)導入整備

各ファンクションのトランスフォーメーションにより
企業価値の最大化を追究

*1 2013年11月29日ニュースリリースの内容

*2 リンパ系フィラリア症治療薬 ジエチルカルバマジン錠

デマンドチェーン

プロダクトクリエーション

コマース

2013年度 連結業績見通し



キャッシュ・インカム^{*1,2}の計画達成により配当金150円を維持

(億円、%)

	2012年度		2013年度			2013年度
	実績	売上比	見通し	売上比	前期比	5月開示数値
売上高	5,737	100.0	5,870	100.0	102	5,780
売上原価	1,741	30.3	1,850	31.5	106	1,805
売上総利益	3,996	69.7	4,020	68.5	101	3,975
研究開発費	1,204	21.0	1,300	22.1	108	1,275
販売管理費	2,087	36.4	1,975	33.6	95	1,915
営業利益	705	12.3	745	12.7	106	785
経常利益	656	11.4	700	11.9	107	749
当期純利益	483	8.4	385	6.6	80	532
当期純利益(特殊要因の影響 ^{*3} を除く)	483	8.4	505 ^{*2}	8.6	105	532
EPS(円)	169.4		177.1 ^{*2}			186.6
ROE(%)	10.9		10.3 ^{*2}			11.5
DOE(%)	9.6		8.8			9.2
キャッシュ・インカム ^{*1}	1,007		1,000 ^{*2}			1,000
配当金(円)	150		150			150

*1 キャッシュ・インカム:成長投資・事業開発、株主還元、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額

算式:純損益+有形・無形固定資産減価償却費+インプロセス研究開発費+のれん償却額+減損損失(投資有価証券評価損含む)

*2 特殊要因の影響^{*3}を除く(特殊要因の影響^{*3}を含めた場合:EPS 135.0円、ROE 7.9%、キャッシュ・インカム 895億円)

*3 欧米における研究開発体制の改編、美里工場における事業譲渡、希望退職募集による構造改革による影響、ならびに復興特別法人税の1年前倒し廃止に伴う税率変更による影響

2012年度期中平均レート 米ドル:83.10円、ユーロ:107.14円、ポンド:131.13円 2013年度期第4四半期予想レート 米ドル:102円、ユーロ:139円、ポンド:167円

平成26年3月期第3四半期決算短信[日本基準]にて、平成26年3月期の連結業績予想を修正

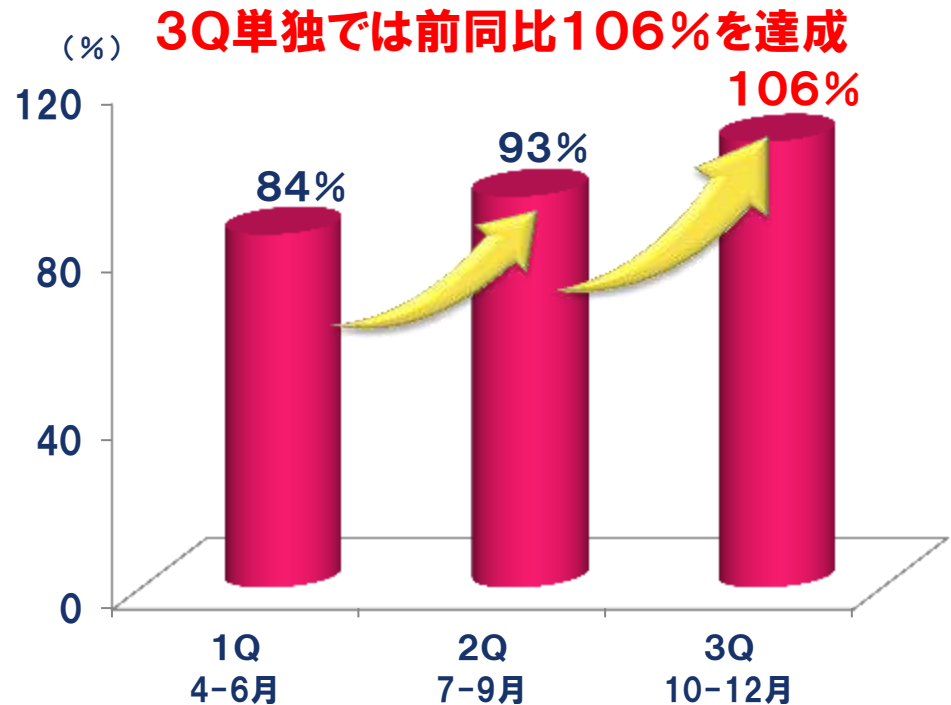
国内アリセプト パイオニアとしての患者様貢献の徹底

2013年度年度計画670億円に向けて 3Q累計523億円達成

アリセプトだけができることの 徹底追究

- ① 適応の拡大
- ② 既存剤形の改良
- ③ 患者様の声を活かした剤形の開発
- ④ 適正使用情報の伝達
- ⑤ hhcホットラインの貢献
- ⑥ 保険薬局認知症研修会の全国展開
- ⑦ 最新エビデンス情報の発信
- ⑧ 新規エビデンスの創出

2013年度四半期別前同比



アリセプトの売上高減少傾向に歯止め

312万人*のアルツハイマー型認知症患者様に対して貢献を継続

3Q累計売上高 2403億円 (前同比103%) を達成

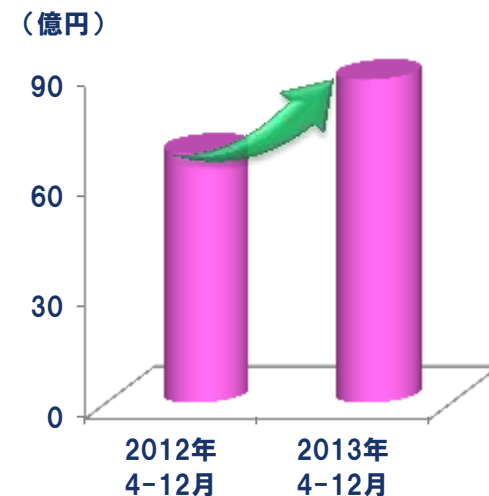
次世代3品目
ヒュミラ、リリカ*1、ルネスタ
前同比131%の成長



ジェネリック事業
前同比127%の成長



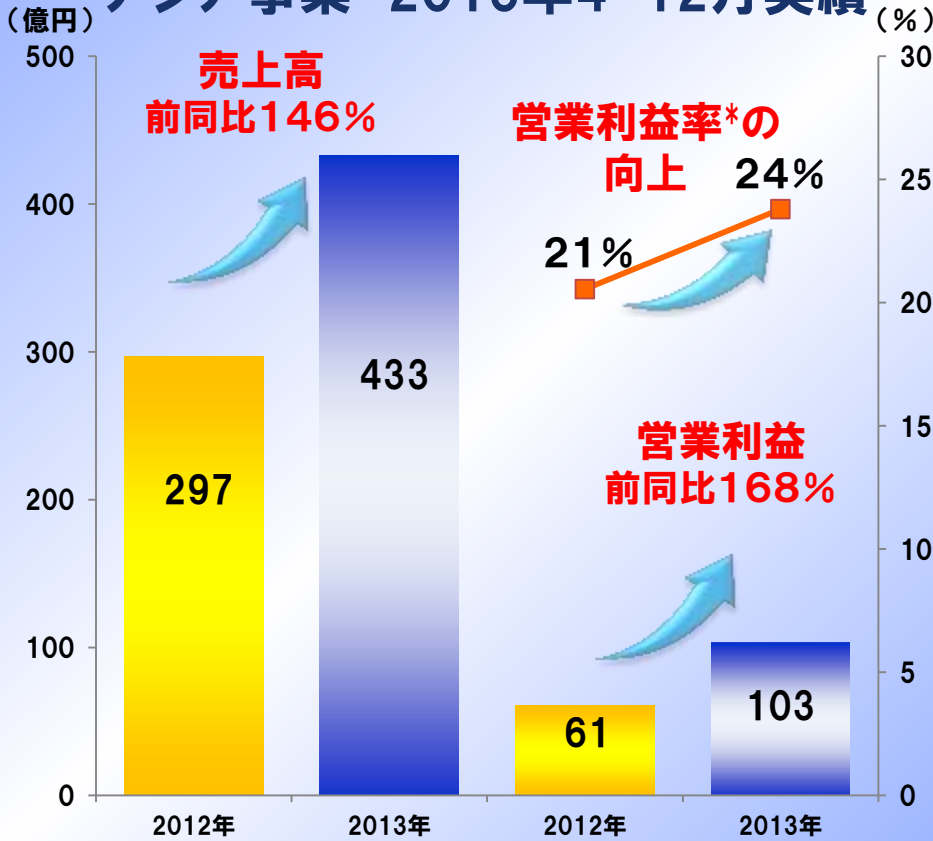
オンコロジー領域3製品*2
前同比129%の成長



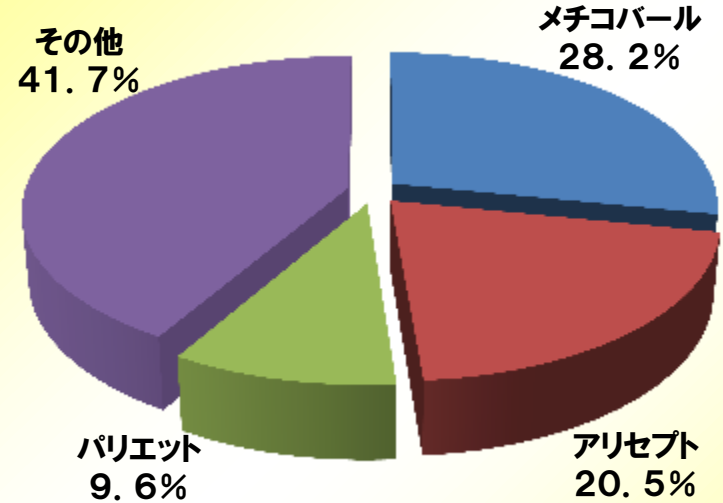
- 次世代3品目・・・投薬期間制限解除*3、適応追加*4によって患者様貢献が拡大
- ジェネリック事業・・・高品質な製品とユニークなビジネスモデルで順調に成長
- オンコロジー領域・・・専任MRによるがん患者様への貢献が加速

続伸するアジア事業 全社連結売上高構成比10%レベルに

アジア事業 2013年4-12月実績



アジア事業 主要品目構成比



2013年4-12月実績

アリエプト		パリエット		メチコパール	
実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比
89	151	42	128	122	159

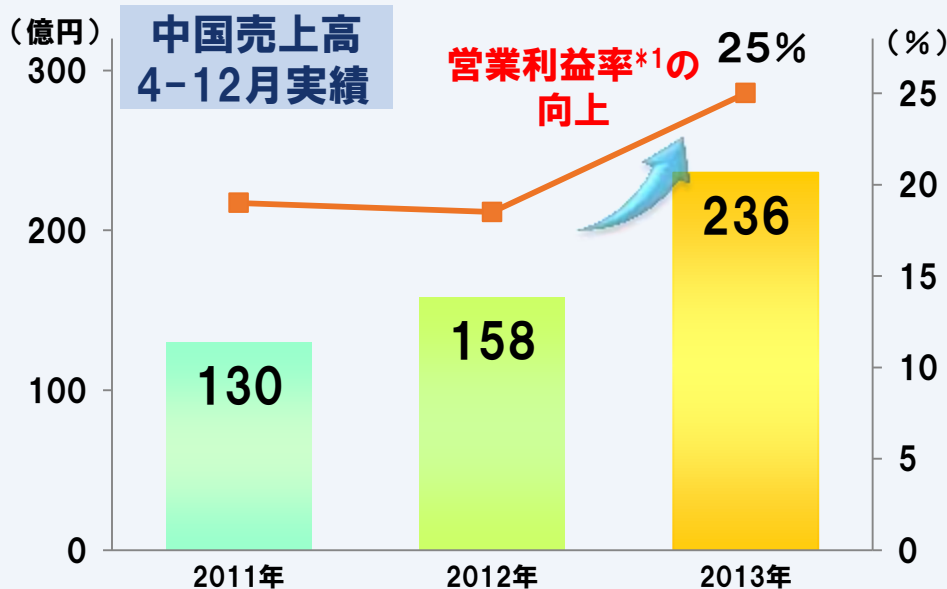
(億円、%)

アジア各社 販売実績 (2013年4-12月)	中国	韓国	台湾	タイ	インド ネシア	インド	マレーシア	フィリピン	シンガ ポール	香港	合計
前年比 (%) (円貨ベース)	149	147	143	131	135	255	138	145	141	107	146

アジア事業を牽引する 中国の急伸とハラヴェンの上市国拡大



中国
2013年度売上高
300億円超を視野



ハラヴェン

上市国拡大と医薬品アクセス追究により
患者様貢献最大化を企図

既上市国(7カ国):

シンガポール、韓国、タイ、香港、フィリピン、
インド、マレーシア

上市予定国:

台湾(2013年度4Q)、インドネシア(2015年度)

2013年上市の6カ国*3において約400名の
患者様貢献を達成

うち約200名がハラヴェン患者様への
支援プログラム*4を利用

*3 韓国、タイ、香港、フィリピン、インド、
マレーシア

*4 患者様の所得水準を考慮し、
購入しやすい価格で提供するプログラム



プログラム統一ロゴ

➤ アリセプト、パリエットを含む医薬品償還リスト収載の
自社創製6品目*2が物量、売上高ともに上昇

➤ 主力3品目

2013年4-12月実績: (前同比、円貨ベース)	アリセプト	170%
	パリエット	154%
	メチコバル	155%

*1 社内管理会計ベース(連結)

*2 アリセプト、パリエット、メチコバル、メリスロン、ミオナル、セルベックス

BELVIQ(ロルカセリン)

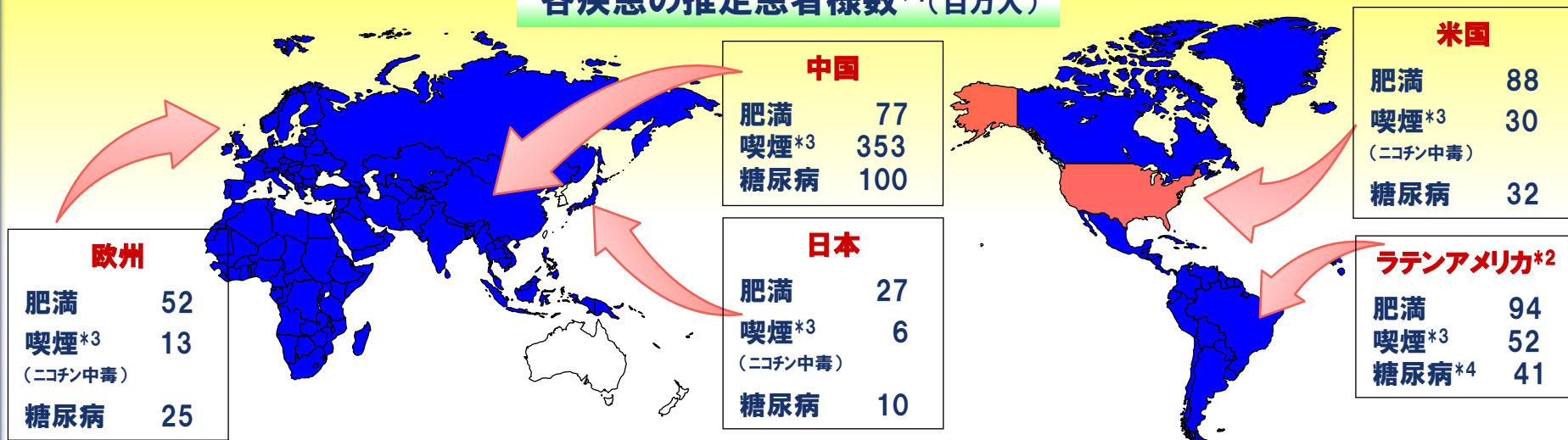


アリーナ社とグローバル契約によるライセンス地域拡大と新適応の追究

独占的販売権を欧州、日本、中国を含む全世界*に拡大
巨大な市場へ新たに挑戦しパラダイムチェンジのパイオニアへ
肥満症以外の特定の適応症(糖尿病、禁煙など)についても両社で共同開発

* 韓国、台湾、オーストラリア、ニュージーランド、イスラエルを除く

各疾患の推定患者様数*1(百万人)



*1 Decision Resources (Obesity 2013, T2 Diabetes 2013, Addiction Disorders 2011), WHO NCD Country Profiles 2011

*2 数値はアルゼンチン、ブラジル、メキシコ、ベネズエラの4カ国での推定

*3 米国、欧州、日本はニコチン中毒患者様数、またラテンアメリカ、中国は喫煙者数

*4 高血糖患者様

■ ライセンス国
 ■ 上市国

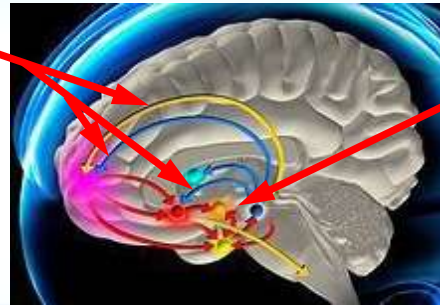
BELVIQ(ロルカセリン) 選択的5-HT_{2C}受容体作動剤 ウェイトマネジメントに加え適応拡大のプラットフォームとして期待



選択的5-HT_{2C}受容体作動剤

中脳辺縁系／中脳皮質

1. **依存症**
 - 禁煙
 - アルコール、薬物依存など
2. **精神疾患**
 - 統合失調症



視床下部

1. **食欲**
 - ウェイトマネジメント
2. **グルコース恒常性**
 - 糖尿病
3. **睡眠リズム**
 - 睡眠障害

新適応および新剤形を積極的に追究

ロルカセリン／フェンテルミン 併用療法

服用12週間のパイロット試験が進行中

- ・ 主要評価項目: 安全性と忍容性
- ・ 副次評価項目: 有効性、体内動態パラメータ、QOL、心血管代謝パラメータ、安全性

1日1回製剤

プロトタイプ同定のための予備的PK試験完了

- ・ 生物学的同等性試験の検討開始

禁煙

フェーズII試験を2014年度1Q中に開始予定

- ・ 服用期間: 12週間 予定登録患者様数: 600例

心血管アウトカム試験



2014年1月に試験開始

- ・ 登録患者様数: 5年間で12000例を予定
- ・ 長期投与による主要心血管イベント(MACE)*1への影響評価
- ・ 2型糖尿病の発症やMACE+*2発生における抑制効果の評価

*1 心筋梗塞、脳卒中、心血管死

*2 主要心血管イベントまたは入院を要する不安定狭心症または入院を要する心不全または冠血行再建術

BELVIQ(ロルカセリン) グローバル展開



薬物治療を含めたウェイトマネジメントのグローバルスタンダード確立をめざす

世界各国における承認申請スケジュール

2013年度

2014-2015年度

2016年度以降

申請中:

カナダ、スイス、メキシコ

申請予定:

ブラジル

- 2014年度上市をめざし上市戦略を策定中^{*1}
- 営業/販売体制を構築中^{*1}

申請予定:

フィリピン、マレーシア、シンガポール、
タイ、中東、欧州、ロシア
その他アジアおよびラテンアメリカ

- エーザイのアジア、中東における申請のノウハウをレバレッジ
- 欧州医薬品庁との協議を経て再申請をめざす
- ロシアでの15年度申請に向け、現地での臨床試験開始予定

申請予定:

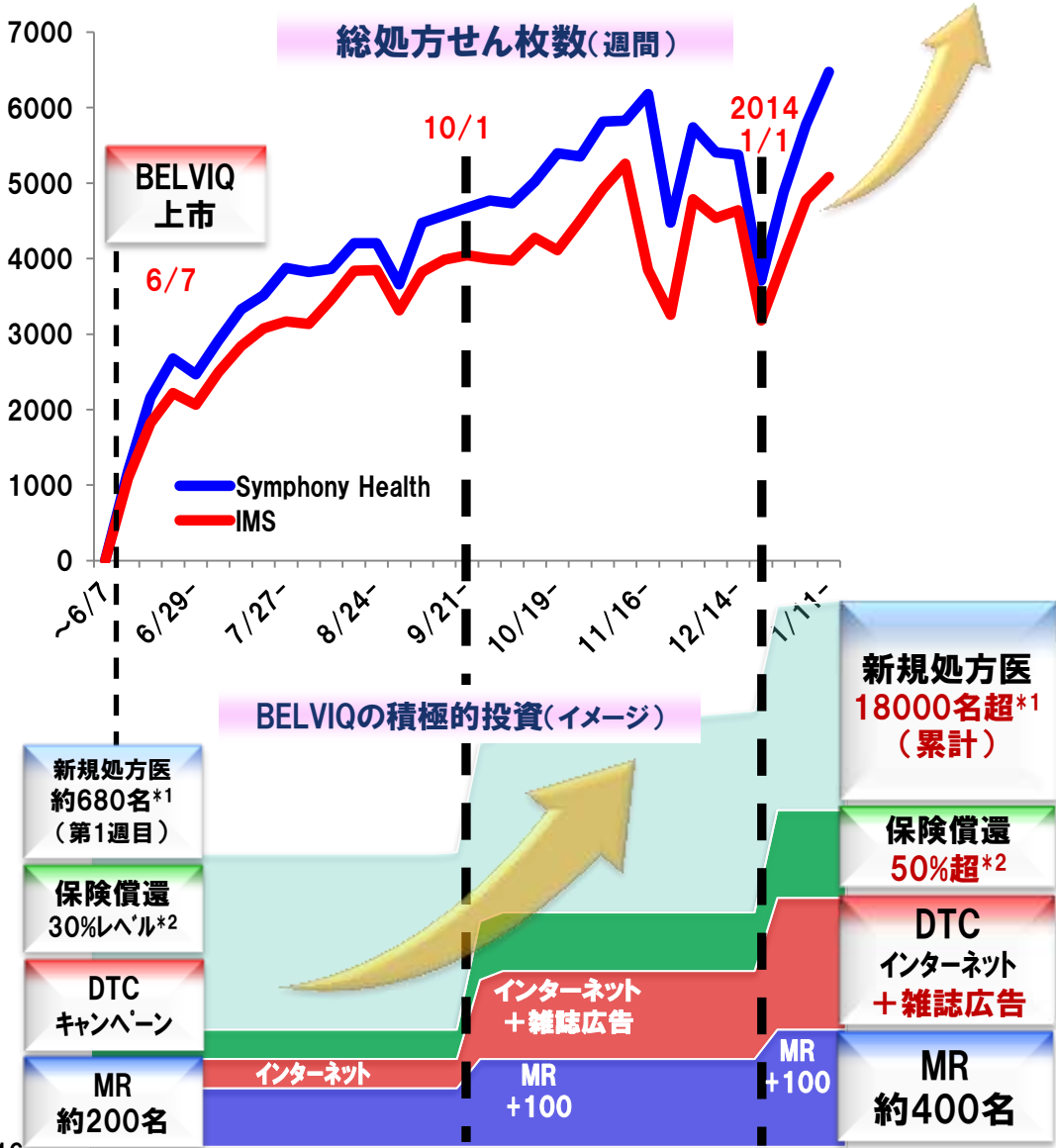
日本、中国
その他

- 日本でのフェーズI試験の準備中、PMDA^{*2}との相談に向け後期臨床試験計画の策定開始
- 臨床試験実施に向けた中国当局提出資料を準備中

*1 カナダ、スイス、メキシコ *2 医薬品医療機器総合機構

**全世界の肥満症患者様へ
新たな薬物治療のオプション提供に向けて
万全な申請準備をめざす**

米国肥満症治療におけるさらなる成長への布石



Payor Wins : 拡大する保険カバレッジ

- 市場形成に向けた薬剤アクセスのさらなる改善
- さらに多数の主要保険プランへ導入決定
2014年1月より償還開始*2
Aetna, BCBS of Massachusetts, RESTAT PBM, Empire BCBS, Johnson & Johnson, Ford Motor Company, Northrop Grumman, CarMax
- 目標を前倒して
2014年度中に70%レベルをめざす

処方医へのアプローチ

- MR約400名体制が1月よりスタート
今後もMR増員により訪問医師目標65000名をさらに拡大予定
- 肥満症治療の変革を興す**
適切な処方を医師から患者様へ

疾患啓発の加速

- 減量にコミットしている患者様を主な対象に雑誌広告を1月より拡大(10月比:約2倍の総発行部数)
- 当局との協議を経て**TVコマーシャルを開始予定**

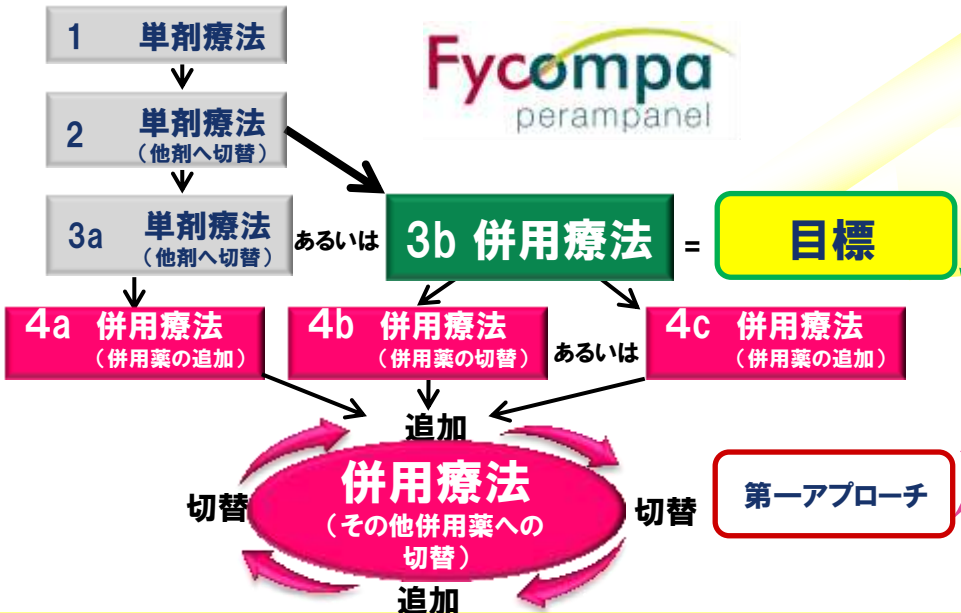


Fycompa 1月2日米国上市



ファーストインクラスの非競合型AMPA受容体拮抗剤
12歳以上のてんかん患者様の部分発作(二次性全般化発作を含む)に対する併用療法
1日1回服用

部分てんかん患者様の薬物療法スキーム



新規メカニズムを徹底訴求
部分てんかん併用療法における
第一選択薬としての
ポジショニング確立をめざす

- MR90名体制で、てんかん治療医の大多数を占める7000名超の医師へプロモーション開始予定
- 保険カバレッジは約90%を見込む (2013年度末)



全米約220万人と推定されるてんかん患者様*1のうち約60%を占める部分てんかん患者様への貢献がスタート
 約30%の全般てんかん*2患者様への貢献開始も間近

さまざまなタイプ*3のてんかん発作の治療に対する
アンメットメディカルニーズの充足をめざす

*1 Decision Resources *2 グローバルフェーズIII試験進行中 *3: 現在開発中の以下適応症: 部分てんかん併用: 日本、中国、アジアでフェーズIII試験進行中、部分てんかん単剤: グローバルフェーズIII試験準備中 部分てんかん小児用製剤: 欧米でフェーズII試験進行中、レノックス・ガストー症候群: フェーズIII試験準備中

レンバチニブ

303試験 主要評価項目達成

レンバチニブ

ファーストインクラスの
新規結合型 選択的
チロシンキナーゼ阻害
プロファイルをもつ

国産初* 低分子分子標的剤

【フェーズⅢ】

甲状腺がん、肝細胞がん

【フェーズⅡ】

子宮内膜がん、グリオーマ、
非小細胞肺がん、メラノーマ

甲状腺がん適応に対して
日米欧でオーファンドラッグ
指定を取得済み

放射性ヨウ素治療抵抗性の分化型甲状腺がんを
対象としたフェーズⅢ303試験(SELECT試験)

主要評価項目：無増悪生存期間(PFS)

副次的評価項目：全奏効率(ORR)、
全生存期間(OS)、安全性

トップライン結果

統計学的に顕著な有意差をもって
PFSを改善し主要評価項目を達成

主要な有害事象は高血圧、下痢、食欲減退、体重減少、嘔気

2014年6月に日米欧申請をめざす

* 本剤が承認されれば、日本の製薬企業が開発した初の低分子分子標的剤となる

ハラヴェン

自社創製の
微小管ダイナミクス阻害剤

- 【承認】 乳がん(52カ国)
- 【申請中】 乳がん2ndライン(欧州)
- 【フェーズIII】 非小細胞肺がん、
HER2ネガティブ乳がん1st/2ndライン、
軟部肉腫
- 【フェーズI】 リポソーム製剤

HER2ネガティブ乳がん1st/2nd
ラインを対象としたフェーズIII試験
(米国)

→2014年1月に試験開始

非小細胞肺がんを対象とした
フェーズIII試験(302試験)

主要評価項目：全生存期間(OS)
副次的評価項目：無増悪生存期間(PFS)

2012年11月 LPI*達成

イベント達成までの期間が
想定以上に延長

申請スケジュール

- トップライン結果は2014年度
第1四半期予定
- 2014年度中に申請予定

Avatrombopag

トロンボポエチン受容体のアゴニストで、血小板増加を促進させる経口の新規化合物

□ 手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症

⇒11月にフェーズIII試験開始

□ C型肝炎に対するインターフェロン療法の実施および開始に支障をきたす血小板減少症 ⇒ フェーズII試験進行中

□ 特発性血小板減少性紫斑病 ⇒ フェーズIII試験進行中

E2006

自社創製のオレキシン受容体阻害剤新規作用機序の睡眠導入剤として開発

□ 不眠症 ⇒ 11月にフェーズII試験開始

E2006*

→ 自然な睡眠の誘発

- 覚醒状態を維持するオレキシンの作用を阻害することで、覚醒状態を保てなくなり睡眠を誘発する
- レム睡眠とノンレム睡眠のバランスに影響しないことを示唆

既存の睡眠導入剤
→ 鎮静型

中枢神経系の活動を抑制するGABAの働きを良くして、脳の興奮を抑制し、催眠効果を発揮する

陸続するグローバル上市による企業価値の向上



既に上市した新製品群（グローバル）

- ハラヴェン** 52カ国承認取得済み 米国、欧州、日本などで発売中
欧州：2013年4月に乳がん2ndラインで承認申請
ロシア：9月上市 インド：10月上市 マレーシア：10月上市
- Fycompa** 36カ国で承認取得済 米国：2014年1月上市
- BELVIQ** 米国：2013年6月上市、11月ライセンス対象地域をグローバルに拡大

（日本）

- ナーブロック** 痙性斜頸治療薬 2013年3月上市
- イノベロン** 抗てんかん薬 2013年5月上市
- アリセプト** ドライシロップ 2013年6月上市
レビー小体型認知症で2013年10月申請
- ヒュミラ** 腸管型ベーチェット病 適応追加（5月）
潰瘍性大腸炎 適応追加（6月）
- ルネスタ** 2013年5月より投薬期間制限解除
- ケアラム** 2013年9月より投薬期間制限解除
- アクトネル** 2014年3月より投薬期間制限解除予定
月1回製剤

（米国）

- アシフェックス** 小児用製剤「スプリングルカプセル」 2013年11月上市

（欧州）

- ゾネグラン** 部分てんかん 小児適応追加
2013年10月

（アジア、開発途上国、新興国）

- アリセプト** 23mg錠 韓国：8月上市
インド：10月上市 香港：10月上市
- DEC錠** 2013年10月無償提供開始

近々に上市予定の新製品群

- ディーシービーズ** 日本：中心循環系血管内塞栓促進用補綴材 2013年4月承認取得、2月4日上市予定
- ラベキュア、ラベファイン** 日本：H.ピロリ除菌用3剤併用パック 2013年2月承認取得、2月14日上市予定

企業価値極大化へ向けた トランスフォーメーションの進展



新薬へのトランスフォーメーション

- アリセプト、パリエットの依存度は確実に減少し、ハラヴェン、Fycompa、BELVIQの3つの新薬に加え、計画「はやぶさ」の中で4番目の新薬であるレンバチニブの上市が視野に

リーンで強固な構造改革

- 全社を挙げて構造改革を行い、より効率的なオペレーションを志向
- 積極的な資源投入
(BELVIQ、Fycompaのセールスフォース拡充、得意領域へのR&D投資)

さらなるグローバル展開

- 今後、成長品目である新製品を先進国中心のマーケットに加え、ロシア、メキシコを始めとするエマージングマーケットにも積極投入

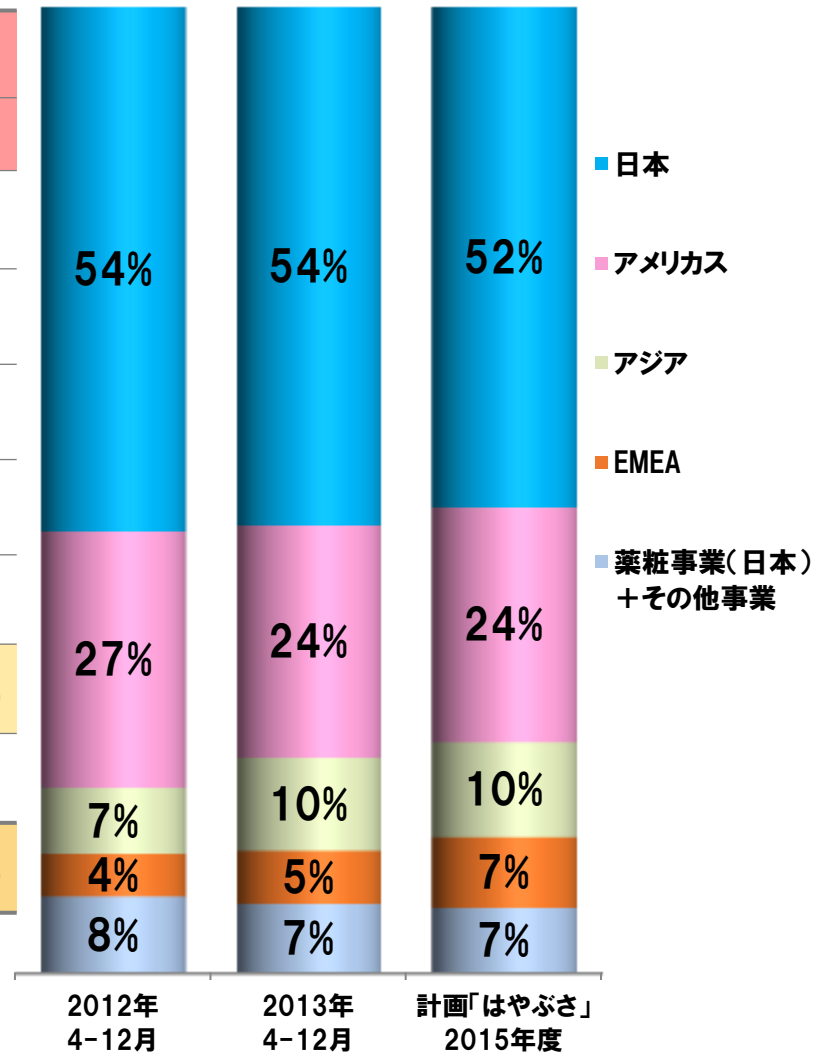
参考資料

セグメント売上高



(億円、%)

	2012年4-12月		2013年4-12月		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前同比
日本*1	2,342	54.3	2,403	53.6	103
アメリカス*2 [百万米ドル]	1,145 [1,431]	26.5	1,068 [1,075]	23.8	93 [75]
アジア*3	297	6.9	433	9.7	146
EMEA*4	189	4.4	243	5.4	129
薬粧事業(日本)*5	158	3.7	160	3.6	101
報告セグメント計	4,131	95.7	4,308	96.2	104
その他事業	185	4.3	172	3.8	93
連結売上高	4,316	100.0	4,480	100.0	104



[]内は現地通貨ベース

日本、アメリカス、アジア、EMEAは医薬品事業

またアメリカス医薬品事業の現地通貨ベースセグメント売上高は期中平均レートに基づき算出

*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬

*2 北米、中南米

*3 中国、韓国、台湾、インド、アセアン

*4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

*5 一般用医薬品

セグメント利益



(億円、%)

	2012年4-12月			2013年4-12月				
	セグメント利益	構成比	利益率	セグメント利益	構成比	利益率	前同比	前同差
日本*1	1,029	69.5	43.9	1,224	78.3	50.9	119	196
アメリカス*2 [百万米ドル]	257 [321]	17.4	22.4	93 [94]	6.0	8.8	36 [29]	△163 [△227]
アジア*3	61	4.1	20.5	103	6.6	23.7	168	42
EMEA*4	13	0.9	6.8	35	2.2	14.4	272	22
薬粧事業(日本)*5	29	2.0	18.5	29	1.9	18.2	99	△0.3
報告セグメント計	1,389	93.8	33.6	1,484	94.9	34.5	107	96
その他事業	92	6.2	49.6	80	5.1	46.5	87	△12
研究開発費および 親会社の本社管理費等	△939			△1,136			121	△197
連結営業利益	541		12.5	428		9.6	79	△113

日本、アメリカス、アジア、EMEAは医薬品事業、またアメリカス医薬品事業の現地通貨ベースセグメント利益は期中平均レートに基づき算出

*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬 *2 北米、中南米 *3 中国、韓国、台湾、インド、アセアン

*4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア *5 一般用医薬品

[]内は現地通貨ベース

hkc
human health care

アリセプト パリエット/アシフェックス売上高



アリセプト (億円、%)

パリエット/アシフェックス (億円、%)

	2012年 4-12月	2013年 4-12月	
	実績	実績	前同比
日本*1	560	523	93
アメリカス*2 [百万米ドル]	93 [117]	38 [38]	41 [33]
アジア*3	59	89	151
EMEA*4	23	14	62
計	736	664	90

	2012年 4-12月	2013年 4-12月	
	実績	実績	前同比
日本*1	386	369	96
アメリカス*2 [百万米ドル]	378 [473]	334 [336]	88 [71]
アジア*3	33	42	128
EMEA*4	24	5	20
計	821	750	91

[]内は現地通貨ベース

[]内は現地通貨ベース

*1 医療用医薬品、ジェネリック医薬品 *2 北米、中南米 *3 中国、韓国、台湾、インド、アセアン *4 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

日本医薬品事業の業績



(億円、%)

	2012年4-12月		2013年4-12月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上高	2,342	100.0	2,403	100.0	103
医療用医薬品計	2,164	92.4	2,188	91.0	101
アリセプト	560	23.9	523	21.8	93
パリエット	386	16.5	369	15.4	96
ヒュミラ	181	7.7	223	9.3	123
メチコバール	201	8.6	196	8.2	98
リリカ*	103	4.4	138	5.7	133
ワーファリン	77	3.3	75	3.1	97
アクトネル	69	3.0	60	2.5	87
セルベックス	60	2.6	53	2.2	88
ハラヴェン	41	1.8	50	2.1	121
ジェネリック医薬品	135	5.7	171	7.1	127
診断薬	43	1.8	44	1.8	102
セグメント利益	1,029	43.9	1,224	50.9	119

* アライアンス収入

アメリカス医薬品事業の業績



(億円、%)

	2012年4-12月		2013年4-12月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上高	1,145	100.0	1,068	100.0	93 [75]
アシフェックス	378	33.0	334	31.3	88 [71]
Aloxi	271	23.7	322	30.1	119 [95]
Dacogen	135	11.8	111	10.4	82 [66]
ハラヴェン	85	7.5	99	9.3	116 [94]
Banzel	38	3.3	56	5.3	148 [119]
Fragmin	78	6.8	52	4.9	67 [54]
アリセプト	93	8.2	38	3.6	41 [33]
BELVIQ			17	1.6	
セグメント利益	257	22.4	93	8.8	36 [29]

[]内は現地通貨ベース

アジア医薬品事業の業績



<アジア>

(億円、%)

	2012年4-12月		2013年4-12月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上高	297	100.0	433	100.0	146 [116]
メチコバル	77	25.9	122	28.2	159 [126]
アリセプト	59	19.8	89	20.5	151 [120]
ヒュミラ	35	11.7	53	12.1	152 [121]
パリエット	33	11.0	42	9.6	128 [103]
強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン	35	11.7	38	8.9	111 [86]
ハラヴェン	0	0.2	3	0.7	617 [503]
セグメント利益	61	20.5	103	23.7	168 [120]

[]内は現地通貨ベース

<中国>

(百万RMB、%)

	2012年4-12月		2013年4-12月		
	実績	売上比	実績	売上比	前同比
売上高	1,247	100.0	1,452	100.0	116
メチコバル	534	42.8	645	44.4	121
強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン	271	21.7	234	16.1	86
アリセプト	127	10.2	170	11.7	133
パリエット	82	6.6	99	6.8	120

EMEA医薬品事業、薬粧(一般用医薬品等)の業績



<EMEA*>

(億円、%)

	2012年4-12月		2013年4-12月			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	
売上高	189	100.0	243	100.0	129	[101]
ハラヴェン	36	19.3	63	25.8	172	[134]
ゾネグラン	34	17.9	50	20.5	147	[115]
アリセプト	23	12.1	14	5.9	62	[48]
Fycompa	3	1.5	11	4.6	392	[309]
パリエット	24	12.8	5	2.0	20	[16]
セグメント利益	13	6.8	35	14.4	272	[115]

* 欧州、中東、アフリカ、ロシア、オセアニア

[]内は現地通貨ベース

<薬粧-日本>

(億円、%)

	2012年4-12月		2013年4-12月			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	
売上高	158	100.0	160	100.0	101	
チョコラBBグループ	86	54.5	92	57.6	107	
セグメント利益	29	18.5	29	18.2	99	

主要パイプライン一覧表

フェーズI

フェーズII

フェーズIII

申請中

がん

神経

免疫他

E7050
固形がん

レンバチニブ+E7050
固形がん

PRI-724
血液がん

E7438
血液がん

ハラヴェン
乳がんネオアジュバント

ハラヴェン
乳がんアジュバント

レンバチニブ
腎細胞がん

レンバチニブ
子宮内膜がん

レンバチニブ
メラノーマ

レンバチニブ
非小細胞肺癌
(RET転座)

ファルレッズマブ
非小細胞肺癌

MORAb-004
肉腫

レンバチニブ
グリオーマ

MORAb-004
大腸がん

MORAb-004
メラノーマ

ハラヴェン
HER2ネガティブ
乳がん1st/2ndライン
(米国)

レンバチニブ
甲状腺がん

ハラヴェン
軟部肉腫

ハラヴェン
非小細胞肺癌

E7040
多血性腫瘍に対する塞栓材

レンバチニブ
肝細胞がん

ファルレッズマブ
プラチナ感受性
卵巣がん

ハラヴェン
乳がん2ndライン
(欧州)

アリセプト
パッチ製剤

E2609
AD
Ph.II準備中

BAN2401
AD

E2006
不眠症

アリセプト
ダウン症候群の退行様症状
(日本)

Fycopa
部分てんかん単剤 Ph.III準備中

Fycopa
レノックス・ガストー症候群 Ph.III準備中

E0302
筋萎縮性側索硬化症

Fycopa
全般てんかん

アリセプト
レビー小体型認知症
(日本)

E6011
炎症性腸疾患

E6011
リウマチ

E1224
シャーガス病

Avatrombopag
cTLD*1

Avatrombopag
特発性血小板減少性紫斑病

Avatrombopag
aTLD*2

*1 cTLD:C型肝炎に対するインターフェロン療法の実施および開始に支障をきたす血小板減少症

*2 aTLD:手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症